

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 1 月 4 日(2024.1.4)

【公開番号】特開 2022-76925(P2022-76925A)
【公開日】令和 4 年 5 月 20 日(2022.5.20)
【年通号数】公開公報(特許)2022-089
【出願番号】特願 2020-187578(P2020-187578)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 12 月 21 日(2023.12.21)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

所定の判定結果を導出可能な判定手段と、

各種画像が表示優先度に基づいて表示され、表示優先度の異なる画像が重なって表示される場合に表示優先度の高い画像が表示優先度の低い画像よりも手前に表示される表示手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいた演出表示を前記表示手段において表示可能な演出制御手段と、

遊技者による操作が可能であり、前記表示手段において表示変化を付与することが可能な複数の操作部と、を備え、

30

前記複数の操作部として、第 1 操作部と第 2 操作部とを有し、

前記演出制御手段は、

前記表示手段において、前記判定結果を示す変動表示を実行可能であり、

前記変動表示中において、前記第 1 操作部を模した模擬画像が表示されることで、前記第 1 操作部に対する操作指示がなされ、前記第 1 操作部に対する操作に基づいて前記表示手段に対して表示変化を付与可能であり、

前記変動表示中において、前記第 2 操作部に対する操作に基づいて前記表示手段に対して表示変化を付与可能であり、

前記第 2 操作部は、前記変動表示中において常に操作受付が可能とされており、

前記変動表示中において、前記第 1 操作部を模した模擬画像として、前記判定結果についての期待度が異なる複数の模擬画像のうちのいずれかの模擬画像を表示可能であり、

40

前記第 2 操作部への操作に基づく表示変化の付与で表示される特定表示は、前記判定結果を示唆しない表示であり、前記変動表示中に複数回表示可能とされ、前記第 1 操作部を模した模擬画像が表示されているときに表示される際に前記第 1 操作部を模した模擬画像よりも表示優先度が高く、

前記判定結果を示唆する演出として複数回の変動表示において行われる特定の先読み演出を実行可能であり、該特定の先読み演出が実行されているなかで、前記特定表示を複数回の変動表示にまたがって表示させることが可能であり、

前記第 2 操作部への操作に基づき表示される前記特定表示は、表示されてから所定時間経過で前記第 2 操作部の操作なく非表示とされるが、該特定表示が表示された後も継続して

50

前記第 2 操作部への操作が行われた場合、前記所定時間を超えて該特定表示の表示を継続させることが可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

操作部を操作受付可能とする際に表示される操作指示表示の表示態様によって、変動表示結果についての期待度が示される遊技機が知られている（例えば、特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2016 - 179063 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、操作部の操作に関する表示についてはその表示態様において遊技者の好み等もあることから、表示の仕方によっては興趣の低下を招いてしまうという問題があり、この点で改善の余地があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

〔手段 1〕に係る遊技機は、所定の判定結果を導出可能な判定手段と、各種画像が表示優先度に基づいて表示され、表示優先度の異なる画像が重なって表示される場合に表示優先度の高い画像が表示優先度の低い画像よりも手前に表示される表示手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいた演出表示を前記表示手段において表示可能な演出制御手段と、

遊技者による操作が可能であり、前記表示手段において表示変化を付与することが可能な複数の操作部と、を備え、

前記複数の操作部として、第 1 操作部と第 2 操作部とを有し、

前記演出制御手段は、

前記表示手段において、前記判定結果を示す変動表示を実行可能であり、

前記変動表示中において、前記第 1 操作部を模した模擬画像が表示されることで、前記第 1 操作部に対する操作指示がなされ、前記第 1 操作部に対する操作に基づいて前記表示手段に対して表示変化を付与可能であり、

前記変動表示中において、前記第 2 操作部に対する操作に基づいて前記表示手段に対して表示変化を付与可能であり、

10

20

30

40

50

前記第2操作部は、前記変動表示中において常に操作受付が可能とされており、
前記変動表示中において、前記第1操作部を模した模擬画像として、前記判定結果につい
ての期待度が異なる複数の模擬画像のうちのいずれかの模擬画像を表示可能であり、
前記第2操作部への操作に基づく表示変化の付与で表示される特定表示は、前記判定結果
を示唆しない表示であり、前記変動表示中に複数回表示可能とされ、前記第1操作部を模
した模擬画像が表示されているときに表示される際に前記第1操作部を模した模擬画像よ
りも表示優先度が高く、
前記判定結果を示唆する演出として複数回の変動表示において行われる特定の先読み演出
を実行可能であり、該特定の先読み演出が実行されているなかで、前記特定表示を複数回
の変動表示にまたがって表示させることが可能であり、
前記第2操作部への操作に基づき表示される前記特定表示は、表示されてから所定時間経
過で前記第2操作部の操作なく非表示とされるが、該特定表示が表示された後も継続して
前記第2操作部への操作が行われた場合、前記所定時間を超えて該特定表示の表示を継続
させることが可能である
ことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50